

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 30 年度

市町村名	幸手市			
提案事業名	幸手駅橋上駅舎及び東西自由通路完成記念魅力発信事業			
事業期間	30 年度	～	30 年度	
事業の必要性、目的	<p>東武日光線幸手駅は、昭和4年の開設以来、東口の改札のみで東西自由通路の開設と西口の整備がこれまで求められていた。</p> <p>平成31年3月に幸手駅橋上駅舎と東西口自由通路が完成するに至ったことから、新たに生まれ変わった幸手駅を市を挙げて祝い、市内外へPRし、記念事業を実施することで、将来にわたって新たな幸手市の玄関口として市民の期待を促し、市民の郷土愛の醸成と、新たな市の個性づくり、にぎわい、交流の場の創出を行う。</p>			
成果指標	(成果を検証する指標) 新幸手駅が誇らしいと思える市民の割合			
	(成果検証の具体的な方法) 記念事業に参加する者のアンケートの実施			
	(上記の指標を設定した理由) 幸手駅の橋上化と東西自由口の開設を新しく生まれ変わった幸手市の顔、玄関口としてふさわしいと評価する者を測定する。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (30年1月現在)	—	目標値 (31年3月時点)	90%
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	市ホームページ			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成30年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 幸手駅橋上化及び東西自由通路完成記念魅力発信事業	ハードソフト 間接補	記念事業を開催することで、市民の念願である新たに生まれ変わった幸手市の玄関口を市を挙げて記念することで、郷土愛の醸成と新たな個性、にぎわい、交流の場の創出ができることで、市内外の者が幸手駅を評価することが期待できる。 また、記念事業を開催することで、市民の深い記憶にとどめることができる。	13,500
②	ハードソフト 間接補		
③	ハードソフト 間接補		
④	ハードソフト 間接補		
⑤	ハードソフト 間接補		
⑥	ハードソフト 間接補		
合計			13,500

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	記念事業を実施することで、事業に参加した者に各種記念行事への参加、木工体験、階段アートや「幸せの予感モニュメント」の体感を通じて、新しい駅舎の完成、新たな個性、利便性を実感させる。
成果指標の達成見込み	新たな幸手駅舎と自由通路の完成は、幸手市民の長年の念願であった。